

アインム

鹿児島商工会議所 〒892-8588 鹿児島市東千石町1番38号 TEL:099-225-9500 FAX:099-227-1619
http://www.kagoshima-cci.or.jp E-mail:soumu.kcci@sage.ocn.ne.jp

メールアドレス
登録のお願い

新型コロナウイルス支援対策(資金繰り・助成金・給付金等)等、様々な情報をいち早くお届けするため、メールアドレスの登録をお願いしています。

是非ともご登録ください。

メールアドレス
登録フォームは
こちら▶



写真/鳥越坂～東郷重位ゆかりの地(霧島市国分中央1丁目)
[詳しくは、1ページのコラム「鹿児島県のスポーツ・武道にゆかりの地を巡る」をご覧ください]

10

2020 October
NO.789

特集

小さな会社のためのIT活用術

～“IT”を上手に使って非効率業務を徹底的に断捨離する!～

TALK

大切な道を守る、新たな道を切り開く、すべては地域の発展のために
国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所 所長 鈴木 淳 さん

会員さんクローズアップ

痛みに悩んでいる方の回復を、全力でお手伝いします
とのうち整体院 代表 登内 達也 さん

企業力を、地域力に

地域の豊かな暮らしを支える身近な存在であり続けること。
その思いが、私たちの活力です。



未来を見つめる、地域総合商社へ。



南国殖産株式会社



会報アイムは鹿児島商工会議所ホームページに掲載しています。
パスワード：aim2020

アイム

鹿児島商工会議所会報

この会報の愛称「アイム」は、鹿児島商工会議所の愛称と同じです。自己紹介の言葉「I'm..」は、出会いの始まりです。「I」には「インフォメーション」「インテリジェント」、「m」には「メトロポリス」「ミート」の意が込められています。

2020
October
NO.789

10

CONTENTS

- 2 小さな会社のためのIT活用術
～“IT”を上手に使うって非効率業務を徹底的に断捨離する！～
- 6 TALK
国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所
所長 鈴木 淳さん
- 7 会員さんクローズアップ
とのうち整体院 代表 登内達也さん
- 8 フォトニュース
IT活用オンラインセミナー
ビジネスに必要な簿記会計セミナー
新入社員フォローアップセミナー
- 9 鹿児島県事業引継ぎ支援センター
- 10 部会・委員会活動報告
製造・整備・エネルギー部会委員研修会
- 11 潮流を読む
- 12 経営相談ガイド
経営セーフティ共済/小規模企業共済
鹿児島県中小企業再生支援協議会/ニュースメール
- 14 労働保険事務組合のご案内
- 15 トレンド通信
- 16 インフォメーション
GO TO Eatキャンペーンプレミアム付食事券参加店募集
桜島だいごんフェア参加店絶賛募集中
令和2年度下半期検定試験日程のご案内
新入会員紹介
- 20 快進撃企業に学べ

10月のスケジュール

鹿児島商工会議所

期日	件名
1 木	第156回簿記検定申し込み受付開始(～10/19迄)
2 金	経理実務基礎講座 第3回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
3 土	
4 日	
5 月	テレワークセミナー 14:00～16:00 於:4階アイムホール
6 火	経理実務基礎講座 第4回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	
13 火	改正食品衛生法対策セミナー 15:00～16:20 於:4階アイムホール
14 水	ワンストップ専門相談会 13:30～16:00 於:13階
15 木	
16 金	社会・労働保険実務入門講座 第1回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
17 土	
18 日	
19 月	社会・労働保険実務入門講座 第2回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	第220回珠算暗算・第130回段位試験 於:14階ほか
26 月	社会・労働保険実務入門講座 第3回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
27 火	民法改正セミナー 14:00～16:00 於:4階アイムホール
28 水	
29 木	社会・労働保険実務入門講座 第4回 14:00～16:30 於:4階アイムホール
30 金	創業塾 第1回 18:30～20:30 於:14階
31 土	

*予定は変更になる場合があります。

鹿児島県の スポーツ・武道に ゆかりの地を辿る



NPO法人 かごしま探検の会
代表理事 東川 隆太郎

◆鳥越坂～東郷重位ゆかりの地(霧島市国分中央1丁目)

全国に知られる薩摩藩の剣術の示現流。その創始者である東郷重位ゆかりの地が国分市街地の隣接地にある。現在は、市街地から霧島神宮方面などにぬける県道60号の一部であるが、その道路が開削される以前は鳥越坂と呼ばれていた。

「国分郷土誌」には、その鳥越坂は示現流のふるさととして記載されている。その根拠が東郷重位の物語であり、若き頃に修練を重ねた場所とされている。

東郷重位は、永禄4(1561)年に瀬戸口藤兵衛尉重為の二男として生まれ、後にルーツである渋谷東郷家の姓である東郷を名乗ることが許されている。重位は島津家に仕え、天正6(1578)年に島津義久と義弘と日州高城における大友勢との戦いを初陣としている。

その後、島津義久に仕えた重位は国分に居を構えるようになるが、その場所が鳥越坂付近であった。天正15(1587)年7月に義久の上洛に従い、翌年の7月から12月まで京都に滞在して天寧寺の僧善吉から剣術を学ぶ。帰郷した後、重位は善吉から学んだことを国分の地で自ら修練する。その場



所も鳥越坂の大木や自宅の庭にある柿の木であったとされている。

慶長9(1604)年、初代藩主となる島津家久の命により、鹿児島の内城において、それまで三州の武士に支持されていた体捨流の東新之丞と立ち合うことになった。その立ち合いに勝った重位は、家久から鹿児島城下の屋敷を拝領し、家臣たちの剣術の育成にあたることになる。ちなみに示現流の名は、後に内城跡に大竜寺を建立する南浦文之によって提案されたもので、島津家久と重位の同意によって決定した。

このように東郷重位が鹿児島城下に転居するまでの修業の場は、まさに国分の鳥越坂といえそうだ。ちなみに現在は、坂の場所に若宮神社が建立されている。御祭神は玉依姫や応神天皇などで、延暦2(783)年に創建された際には向花にあったが、慶長年間に島津義久によって現在地に移されている。

小さな会社のためのIT活用術

“IT”を上手に使って非効率業務を徹底的に断捨離する！

依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい経営を強いられている中小企業・小規模事業者が、現状から脱却し、事業継続・販路拡大を進めていくためには、既存の枠組みにとらわれない柔軟な発想と手法による事業展開が求められます。

生産性が縮小している昨今の状況において、“IT”を活用した業務効率化や人員配置等の見直しなど、生産性向上（＝経営力アップ）を目指す事は有効な手段の一つです。

「ITはよく分からないから…」 「うちにはハードルが高そうだから…」と考えている皆様へ、IT導入による業務改善効果や最新ツールまで、現場で使える幅広い情報・知識について、ナインソーツコンサルティング㈱ 代表取締役の野村忠史さんに紹介していただきます。

アフターコロナ・ウィズコロナの時代、業務のIT化はこれまで以上に重要だ。しかし残念ながら日本企業のIT化は、いまだ世界に大きく遅れをとっている。特に中小企業においてIT利活用が進んでいないのだ。IT利活用は今後企業として生き残るための生命線だ。IT投資が会社の最重要戦略であることをまず認識することである。

✓ あなたの会社の業務改善可能性をチェック

あなたの会社はITをうまく活用できているだろうか。といってもどんな業務がIT導入で自動化・効率化されるのか正直よくわからない、という方も多いのではないかな。まずは次の質問に「はい」か「いいえ」でチェックしてほしい。

業務改善可能性チェック

1. タブレットPOS、クラウド会計と聞いてもよくわからない。
2. 在庫管理用販売ソフトと記帳用会計系ソフトは連携されてなく、手書きや手入力で管理している。
3. 勤怠管理、月末締め業務、受発注処理など、データ集計や転記作業に多くの時間を奪われている。
4. 顧客情報や案件情報が属人化されており、担当者でないと状況がわからない。
5. Excelデータが散在し、部門間で共有されておらず、同じ情報が二重管理されている。
6. Excelデータ入力の手間や、検索に膨大な時間が奪われている。
7. 対面面談で打合せすれば効果的なのはわかっているが、移動時間や交通費が余計にかかるのでメール等の面談以外の手段でやり過ごしている。

いかがだろうか。「はい」が多いほどあなたの会社のIT利活用は進んでおらず、業務改善可能性は高い。どんなITツールで効率化できるのか後半で紹介するので、ぜひ参考にしてほしい。

✓ IT導入の鉄則は「トップダウン」体制

IT導入検討をはじめるときに何よりも大切なこと、それは「トップダウンで進める」ことである。会社のトップが積極的に、かつ強烈に関与しないと上手くいかない。強い権限がないものが無理に進めようとするとき必ず抵抗が強くなるからだ。IT化で今までの業務のやり方が変わるため、長く勤めている真面目な人ほど難色を示すものだ。IT化の目的や必要性、導入後の社員教育の重要性など社員皆に関心を持ってもらい、社内をまとめるためにはトップダウンが必須なのである。

故に、トップには日頃からITの知見を高めてほしい。自らが責任者となり、IT感度の高い協力的な幹部や後継者を推進リーダーにし、必要な時には外部の専門家と連携をとるという体制づくりが肝である。

IT化を成功させるために大切な3つの鉄則

1. 責任者はトップ。随時進捗確認をトップ自ら行う。
2. 推進リーダーには一定の権限を与える。
3. トップは、推進リーダーや専門家に絶対に丸投げしない。

✓ 成功の鍵は「目的の明確化」

IT化しようとする時、いきなりツールに飛びついてしまう会社が実に多い。「Web会議が必要…。じゃあ最近よく聞くZoomを入れよう。」と、安易な思いつきで始めてはいないか。これではうまくITを活用することはできない。そこには、「誰が使うのか」「誰が教育するのか」「どの業務が効率化できるのか」「どのくらい投資効果があるのか」「他のツールはないのか」といった視点がごっそりと抜けているからだ。

ツールに飛びつく前にすべきことは「現状の業務フロー分析」である。業務フロー分析でIT導入の目的を明確化することが大切なのだ。業種や規模によっても違うが、大まかな業務フロー分析の手順は次のとおり。

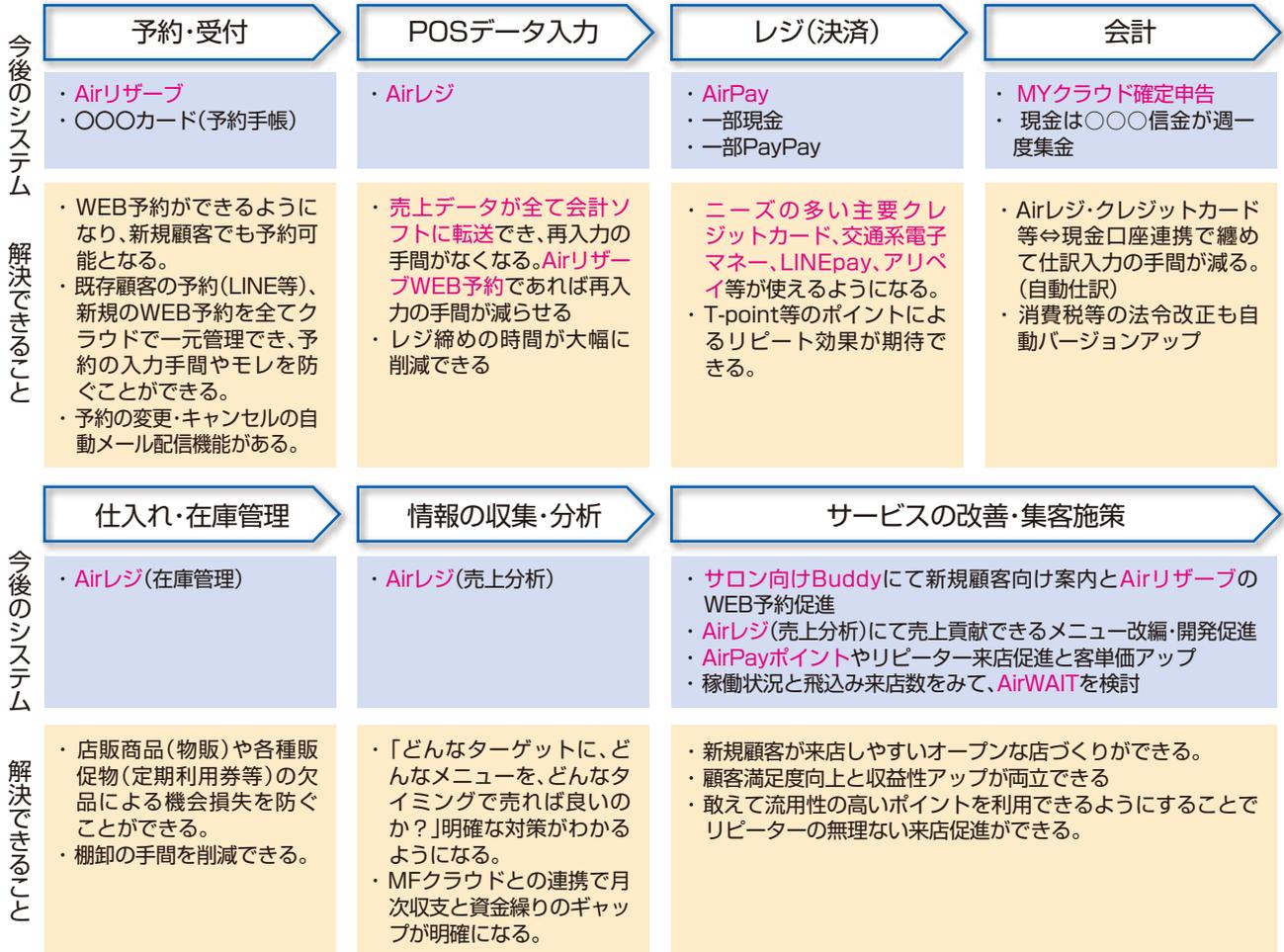
1. まず、現状の業務がどのような流れで行われていて、それぞれどのくらいの手間がかかり、具体的にどのくらいの時間がかかっているかを洗い出す。これをしっかりと文字に起こしながら確認し、作業時間など数値化できるところは数値化してトップや幹部含めて全員で共有すると、非効率な手順や不要な作業、重複している業務など現状の課題が浮き彫りになる。これが現状の業務フローにおける課題だ。

現状の業務フロー分析の例(サービス業・初級編)

	予約・受付	POSデータ入力	レジ(決済)	会計
現状のシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇カード(予約手帳) ・個人LINE予約 ・〇〇〇(無料スケジュールアプリ)で一元管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇〇」アプリ(POS)にてレジ売上管理、顧客施術履歴(写真、カラー)の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金 ・一部PayPay 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇〇」会計(バージョンアップなし) ・現金は〇〇〇信金が週一度集金
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇カードで次回予約の約束ができていない。(リピーター獲得力に強みがある。) ・新規の来店予約が取りづらい。 ・顧客自身でWEB予約が取りづらいため、都度〇〇〇で入力の手間が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ機能があるにも関わらず会計データとして転送されていない。(別途入力の手間がある。) ・POS機能があるもののデータ活用まで至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本現金しか使えないため、交通系カード、クレジットカードを所有している顧客の対応ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高と現金の集計のみを数か月ごとに纏めて入力。 ・後継者が3事業(父:〇〇、弟:〇〇、本人:美容)の確定申告を行っている。
	仕入れ・在庫管理	情報の収集・分析	サービスの改善・集客施策	
現状のシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン:店舗WEBサイトなし ・オフライン <ul style="list-style-type: none"> ・店舗ポイントカード ・年一度の年賀カットチケット ・〇〇〇祭りでのショップカード500枚配布 ・ハロウィンイベントでのショップカード配布 ・独自の教育体系をもっている、離職率が低い 	
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・粗利把握と棚卸数量の実態把握を月次では行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・客数×客単価の動向や利益率の高いメニューなどを把握できていない。 ・月次損益の実態は把握できていない。そのため事業売上高と生活費が混在している可能性大(月次損益⇔資金繰りの不整合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計結果を元に、売上高向上施策は殆ど行っていない。 	

2. 現状の業務フローの課題が明らかになったら、課題改善後の理想の業務フローを作成する。ここでは専門家であるコンサルタントやITコーディネーターの力を借り、それぞれの課題にあったITツールの検討や導入後の効果の数値予測も行う。

改善後の業務フローの例(サービス業・初級編)



業務フロー分析をすることにより、業務のどの部分がITによって効率化できるか、どのくらいの時間や人件費を削減できるのか把握が可能になる。改善前と改善後の変化予測を数値でみることで、導入に対する効果が明確になるためIT投資しやすくなり、導入後も効果測定がしやすくなるのだ。

業務フロー分析はとても時間がかかり面倒くさい作業だが、IT化検討時にこれをやるのとやらないのでは、後に大きな差が生まれることをぜひ覚えておいてほしい。

✓ 勘所は ECRS と PDCA

今の業務を見直す時の大事なポイントに ECRS がある。Eliminate (エリミネート・削除) ・ Combine (コンバイン・結合) ・ Rearrange (リアレンジ・交換) ・ Simplify (シンプリファイ・簡素化) という4つの単語の頭文字を繋げたものだ。

無くせないか、まとめて一緒に処理できないか、順序を変えて効率的にならないか、もっと単純化できないか、という4つの視点をもって業務フローをチェックしてみよう。

ECRSはあらゆるシーンで有効だ。現在の業務フローからあるべき姿の業務フローを作成するときには、ECRSをポイントに業務内容を見直す。ITツールを導入した後は、導入によって流れが変わった業務フローをECRSの視点でチェックする。

ITツールは入れたら終わりではない。導入による変化や効果を、チェック日時をきめて継続的にPDCAを回す。そうすることで業務フローの効率化だけでなく会社全体の最適化が図られ、商品やサービスの質が高まり、結果的に収益拡大につながるのだ。

ECRS

1. 【排除/無くせないか?】 : Eliminate
◆業務の目的をもう一度見直し、その業務は無くせないかを考える。
2. 【結合/一緒にできないか?】 : Combine
◆業務をまとめて一緒に処理することで、かかる時間を短くできないかを考える。
3. 【交換/順序の変更はできないか?】 : Rearrange
◆仕事や作業の順序を入れ替えることで、効率的にならないかを考える。
4. 【簡素化/単純化できないか?】 : Simplify
◆もっと省略したやり方で、同じ結果を生み出せないかを考える。

✔ デジタル化の真のメリットはデータ蓄積

「ITツールを導入して業務効率化できた」と喜んでいても、これはIT化メリットの3分の1程度に過ぎない。IT利活用によって得られるメリットの大きな部分は、実は「データの蓄積」にあるのだ。

マーケティングや販売力強化の支援相談を受ける際、「うちの会社は何をすればよいですか？」と結論を急がれる企業は多い。しかし残念ながらすぐに適切なアドバイスができることは少ない。データがないからだ。データがあれば適切な改善プランが立てられる。

具体的な例を見れば分かりやすいだろう。

店のレジにタブレットPOSといわれるITツールを使う。するとお客様がレジで会計をした瞬間に、タブレットPOSで登録・処理された内容がデータとして保存される。そのデータを見れば、どの商品が誰にいつ買われているのかがリアルタイムに分かる。データさえあれば「どんなモノを、どんな相手に、どのように販売すればよいのか」が見えてくるのだ。ITツール導入で得られるデータをどのように活用するかを意識しておく、あなたの会社のIT化はさらに進んだものになる。

✔ どんな種類があるのか、ITツールのご紹介

これまでは体制づくりや業務フロー分析について解説してきたが、ここで実際にどんな種類のITツールがあるのかを簡単にご紹介する。はじめに見てもらった「業務改善可能性チェック」に対応する形になっているので、興味があればぜひ専門家等に相談してみしてほしい。

■タブレットPOS&クラウド会計（冒頭のチェック項目1、2を改善）

販売・経理業務を自動化・効率化でき、販売状況が瞬時にわかる。また、販売情報と経理情報が連携しているため、会社の経営状況もリアルタイムで把握できる。月額数千円から利用でき、まず無料で試すこともできる。

■RPA（冒頭のチェック項目3を改善）

ロボティック・プロセス・オートメーションの略。パソコンにロボットを入れて、定型業務など単純作業をロボットにやらせることができる（交通費の精算や勤怠管理、ECサイトなどのデータ管理作業、月末締め業務などなど）。ロボットと聞くと費用が高いイメージがあるかもしれないが、低コストからはじめられるものもある。

■グループウェア（冒頭のチェック項目4～6を改善）

案件管理や顧客管理に非常に有効。情報を一元管理し、簡潔な入力・検索ができる。蓄積された多くの情報から、お客様に最適なものを最適な状態、タイミングで提案することができる。情報が属人化している会社、Excelデータがやたらと多い会社には特におすすめだ。

■Web会議（冒頭のチェック項目7を改善）

コロナ禍でだいぶ普及したWeb会議ツール。移動に時間やコストをかけず、顔をあわせたコミュニケーションが取れる上、画面を共有して資料を一緒にみることもできる。社内や社外との打ち合わせだけでなく、OJTなど研修シーンでも活躍する。

✔ 補助金を上手に使うってIT化を促進しよう

中小企業のIT化に、国は非常に協力的だ。ITツールを導入するにあたって利用できる補助金が複数用意されている。中小企業庁が情報提供しているミラサポというポータルサイトもある。ぜひ日頃から信頼できる場所で最新情報をチェックして、IT利活用を役立ててほしい。



野村 忠史 氏

（ナインソーツコンサルティング㈱）代表取締役／中小企業診断士・ITコーディネーター

1971年生まれ。営業会社入社後、最下位から1年後に200人のトップになり、その後、15年間あらゆる業種業態で一貫して営業職を勤め、常に上位10%をキープ。経営コンサルタントとして独立後、あらゆる業種業態に応じた「売れる仕組み」を考案し、中小企業の販路拡大や販売力強化支援を行っている。

近年は、デジタルとアナログを融合させた超実践的な営業手法の開発や指導にも力を入れている。

全国の商工会議所での講演実績も多数。オンラインセミナーも精力的に取り組んでいる。

【30分無料相談受付中】



※お申込みは、「令和2年10月末まで」とさせていただきます。
※ご相談は「LINE電話」or「オンライン会議」などで承ります。

TALK

国土交通省 九州地方整備局
鹿児島国道事務所
所長 鈴木 淳さん



すずき じゅん さん (45歳)
茨城県那珂市生まれ
2002年4月 国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川
国道事務所
2011年9月 独立行政法人国際協力機構 経済基盤開発部
2014年4月 国土交通省 総合政策局 国際政策課 課長補佐
2016年4月 国土技術政策総合研究所 管理調整部
企画調整課 課長
2017年8月 国土政策局 総合計画課 企画専門官
2019年4月 九州地方整備局 鹿児島国道事務所 所長

大切な道を守る、新たな道を切り開く、すべては地域の発展のために

Q 鹿児島国道事務所の役割について教えてください。

A 鹿児島県内にある国道のうち、3号・10号・58号・220号・225号・226号を管理しています（一部を除く）。建設整備、改良や補修、防災や災害復旧など、良好で安全な交通網の確保に努めています。

日本の道路は東京・日本橋を起点に広がっています。鹿児島は終着点とも言えますが、同時に離島や沖縄さらにはアジアへと向かう発着点でもあります。そんなところに私も魅力を感じています。「すべての道は鹿児島に通ず、海の道は鹿児島から

はじまる」というキャッチフレーズはいかがでしょうか？

Q 県内では、大がかりな整備事業も進められていますね。

A 今年3月に鹿児島東西道路（国道3号バイパス）のトンネル工事に着手しました。鹿児島東西道路は九州自動車道の鹿児島ICと鹿児島市街地を結ぶ高規格道路です。武岡トンネル・新武岡トンネルと並行して新たに地下トンネルを設けます。開通後は都市交通のアクセス機能の強化と渋滞緩和が期待されます。

トンネル工事にはシールド工法を採用。これは、九州の道路トンネルとしては初めてとなる技術です。鋼鉄製のシールドに覆われた円筒形の掘削機で地下を掘り進めます。交通規制などを行う場所をあまりとらず、周辺環境への影響を最小限に抑えることができます。また、地下水への影響が少ない工法でもあります。

2020年9月現在、中洲通電停付近に立坑を施工中です。ここがシールドマシンの発進地となります。

国道10号では、磯・始良脇本間において鹿児島北バイパスの建設、白浜地区の拡幅工事に取り組んでいます。混雑緩和を目的とするほか、防災においても大事な工事になります。ほかにも、南九州西回り自動車（国道3号バイパス）の整備、管轄道路の交差点改良や電線地中化、歩道の

整備など行っています。

すべての箇所での細心の注意を払いながら工事を進めてまいります。ご理解ご協力をお願いします。

Q 今後に向けて、どのような思いをお持ちですか？

A 私が鹿児島に赴任して1年半ほどになります。県内あちこち行ききましたが、いまだに新しい発見が多く、毎日が新鮮な気分です。私は温泉が好きで、県内の温泉施設もかたづけしから回っています。鹿児島の魅力は語り尽くせません。

『万葉集』には、「みち」という言葉に「美知」の字を当てている歌が多くあります。人と人が出会う、物や情報が行き交う、踏み入れた土地の魅力を感じる。「美しく知る」というとらえ方は素敵ですよ。

道は古代から大切にされてきました。それは現代でも変わりません。その一方で、時代にあわせて形を変える必要も出てきます。交通量が増えたら道を広げ、あるいは新しい道を切り開くわけです。移動時間短縮や定時性確保、安全性の向上など、改善すべきところもあります。

道路に対して求められることを形にしていける。それが、私たちの仕事です。鹿児島の大切な「みち」を守り、より良いものにしていくために、地道に走り続けます。

会員さん

クローズアップ



とのうち整体院

とのうち たつや
代表 登内 達也 さん(44)

鹿児島市紫原の住宅街にある整体院。訪れる人はさまざまな症状を抱えています。院長の登内さんとはとことん話を聞いてくれます。悩みをすべて受け止めて、体の不調を改善していきます。

痛みに悩んでいる方の回復を、全力でお手伝いします

ひとりひとりの思いと
じっくり向き合う

痛みやしびれを早くとってあげたい。当院では、オーダーメイドの整体を提供しています。ひとりひとりをじっくりと話を聞き、体の状態や痛みの原因をとらえ、効果的な施術を行えるよう努めています。

整体師としての私の原点は、高校3年生のときの体験にあります。私は野球に打ち込んでいましたが、怪我をしてしまいました。そのときにある治療院でお世話になりました。通常よりも早く回復し、最後の大会でプレーすることができたのです。素晴らしい仕事だと感じました。

柔道整復師の資格を取得してこちらの道へ。天文館の整体院での勤務を経て、2015年に独立開業しました。当初は賃貸の店舗で営業していましたが、2019年4月に現所在地に新築移転しています。

商工会議所の存在は心強い
有用な情報もたくさん

商工会議所には開業からお世話になっていきます。青色申告の相談が入会のきっかけ。すごく丁寧に教えてもらえて、とても助かりました。今では自分でできるようにになりましたが、提出前の確認をしてもらって

ます。専門家に見てもらおうと、やはり安心感がありますからね。

経営相談でも力になってください。商工会議所を通して小規模事業者持続化補助金の申請もしています。補助金はチラシの作成・配布とホームページの整備に活用しました。宣伝の効果はとも感じられませんが、新規のお客様をかなり呼び込むことができました。けっこう遠くから来られる方もいらっしゃいます。

新型コロナウイルスに関する支援制度についても、商工会議所の担当者にお聞きしています。補助金や融資、納税猶予など、各種制度を詳しく説明してもらえました。今のところ支援制度を使う予定はありませんが、先が見えにくい世の中です。頼れる制度がある、と知っておくことは大事ですね。いざというときにすぐに動けますし、気持ちも少し楽になりました。

スタイルは変えずに
仕事の質を上げていく

これまでやってきたことに、手応えを感じています。ひとりひとりの思いに向き合う今のスタイルを続けていきます。そのうえで、仕事の質をもっと上げたい。現状に満足することなく、自分の技術を磨き続けます。勉強会にも積極的に出向き、新しい

会員さん情報

【とのうち整体院】



院内はリラックスできる空間。カウンセリングにも時間をかけます。

創 業
2015年
所 在 地
鹿児島市紫原5-42-30
T E L
099-807-2060
営業時間
8:30~12:30、14:00~19:00
予約優先
土曜日は18:00まで
木曜日は午前中のみ
定 休 日 日曜日、祝日
H P
<https://www.tonouchi-seitain.com>

情報にもアンテナを立て、いいものはどんどん取り入れます。来院者を増やすには「早く治す」ということが大事。良くなれば、その方はもう来てくれません。でも、それでいいのです。施術の効果をしっかりと実感していただければ、その方が「あの整体院は良かったよ」と言ってくださる。そんな評価が、新たなお客様を連れてきます。

体の悩みを抱えた多くの方が、ここを訪れます。しっかりと期待に添えていけるよう頑張ります！

8/18

IT活用オンラインセミナー
アフターコロナ・ウィズコロナに
対応したIT化を進める



※写真は、ZOOM参加ができない方向けに、
コロナ感染対策をとった上で開催した会場
受講の様子

8月18日、ナインソーツコンサルティング(株)代表取締役の野村忠史氏に講師をお務めいただき「IT活用オンラインセミナー」を開催した。本セミナーは、新型コロナウイルス感染症対策の観点からオンラインコミュニケーションアプリ「ZOOM」によるオンラインセミナーとして開催し、33社41名が参加した。

セミナーでは、アフターコロナ・ウィズコロナ時代は生産性向上や人材不足対応のために「デジタル化」が企業存続の生命線になる事から、事業所ごとの課題を解決できるITツールを導入すると共に、その過程で既存業務の断捨離(排除、統合、交換、簡素化)を行う事で、より効果的に収益増加につなげる必要がある、と説明があった。

参加者からは、「会社を空けられないためZOOM受講ができた」「自分の会社でもオートメーション化ができる部門の具体的なイメージができた」などの感想が寄せられた。

8/22

ビジネスに必要な簿記会計セミナー
簿記会計の重要性と
日商簿記検定の有効性



※写真は、オンラインでの参加が困難な方に、感染
対策を講じた上で開催した会場受講の様子

8月22日、日商検定試験推進アドバイザーの小島一富士氏を講師に迎え、オンラインによる「ビジネスに必要な簿記会計セミナー」を開催し、28社90名が参加した。

セミナーでは、コロナ禍でも強い財務基盤を持つ企業の特徴について、個別企業の財務諸表を事例としての解説があった。

また、ビジネスにおいて企業の経営・財務実態を把握する力を身に付けるには、簿記の知識が必要不可欠であり、従業員に対して簿記検定試験の取得を促し、簿記の知識を有した優秀な人材を育成することが、企業の経営力を高めることに繋がるとの説明があった。

参加者からは、「企業経営には簿記が欠かせないと気付くことができた」「さっそく社員に受験させたい」などの感想が寄せられた。

9/4・9/11

新入社員フォローアップセミナー
入社半年を振り返り、会社から
求められる人財を目指す



※セミナーは、コロナ感染対策をとった上で開催

9月4日・11日の2回にわたり「新入社員フォローアップセミナー」を開催した。セミナーでは(有)アテナスの待木美奈子氏・(株)清友の宮之原明子氏を講師に迎え、入社半年〜1年程を経たこの時期に、改めて新入社員としての心構えや会社での役割を確認すると共に、ビジネスマナーやコミュニケーションの取り方等について振り返り、今後の短期・中期的なビジョンの具体的な書き出し等を行った。

参加者からは、「1日かけて振り返りを行える良い機会となった」「今更聞けない事が解決できて助かった」「会社から求められる人財になるために変わりたい」などの感想が寄せられた。

人と自然にやさしい、快適な環境づくりに貢献。

ISO 9001・14001
ISO 45001
ISO/IEC 27001
認 証 登 録

NANOSAY
南生建設株式会社

http://www.nansay.co.jp/

代表取締役 川 畑 智 洋

本 社 / 鹿児島市平之町8番13号

TEL 099 (223) 8388

FAX 099 (227) 0620

営業所 / 熊本・大隅・始良・北薩・南薩・熊毛

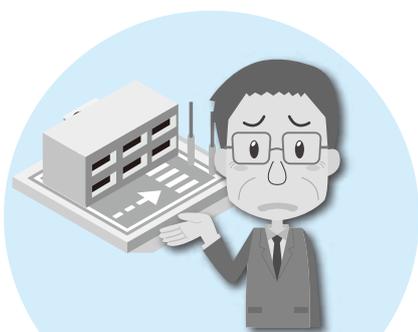
鹿児島県 事業引継ぎ支援センター

後継者不在の事業承継のことなら
当センターへご相談ください！

鹿児島県事業引継ぎ支援センターは、「産業競争力強化法」に基づき九州経済産業局から鹿児島商工会議所が委託を受けて実施している事業です。

当センターは公的機関であり、秘密は厳守・相談は無料です。
お気軽にご相談ください。

こんな悩みをお一人で抱えていらっしゃいませんか？



自社を他の企業に譲りたいが
どのように進めていけばよいか？



他の企業を譲り受けたいが、
どのように進めていけばよいか？

中小企業や小規模事業者の
皆様のご相談を、実務に精通した
専門家が無料で相談を
お受けいたします。



後継者がいない。
今後、会社は存続していけるだろうか？



個人事業主でも
相談してもらえるのか？

ご相談日 月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00 (年末年始・祝日を除く)

事業承継 鹿児島県事業引継ぎ支援センター(鹿児島商工会議所内)

TEL 099-225-9534 FAX 099-227-1977

〒892-8588 鹿児島市東千石町1-38アイム13階(鹿児島商工会議所内)

<https://shoukei.kagoshima.jp/> E-mail:k-hikitsugi@chic.ocn.ne.jp



自動車リサイクル困難国の
実態と問題解決策を学ぶ
〈製造・整備・エネルギー部会委員研修会〉

■日時 8月25日18時30分～

■場所 ホテル・レクストン 鹿児島

■講師

鹿児島県立短期大学

学長 塩地 洋氏

■演題

太平洋洋島嶼国における廃車放置
問題の解決のために

■概要

これまで79か国、約8千カ所を訪ねて自動車産業の国際比較研究を行ってきた。放置車両問題についても調査してきたが、フィジー、トンガ等の太平洋島嶼国において、車両放

置問題が深刻化している実態を目的に当たりしした。放置されている車両には民間車両だけでなく行政の車両もあり、その9割は日本から輸出した中古車である。

フィジーやトンガ等のような自国のみでは解体・リサイクルプロセスを自己完結できない国を「自動車リサイクル困難国」と定義した。その主な要因の1つが、狭小国のため電炉や精錬炉の採算が成り立たないことである。日本で使用している最小の電炉をフィジーに作ったとしても4日で処理できる量の放置車両スクラップしかない。もう1つが、国際物流費用(海上輸送費)が遠距離で高いことに加え、一国内でも本島と離島が離れており、運賃が割高になるため、廃車を海外へ持ち出せないことである。

「自動車リサイクル困難国」が自国で廃車をリサイクルすることが難しいことを知りながら、あえてそうした国に自動車輸出する企業や政府は「持ち込み責任」「持ち帰り責任」を果たさなければならぬと考える。この責任を果たすため、自動車リサイクル困難国における自動車解体・リサイクル事業に対して、自動車輸出入企業や政府は、応分の国際協力・リサイクル国際分業を行うてはどうか。

か。また、島嶼国の解体事業を経営的に成り立たせるための方策として、日本人による島嶼国での手ばらし解体の指導や、プレスした廃車スクラップの日本への持ち帰り、日本の支援による買取り・持ち帰りセンターの設立等を提案したい。



KAGOSHIMA BANK

“かぎん”でんさいサービスは手形に代わる新たな決済手段をご提供します。

「でんさい(電子記録債権)」は手形・指名債権(売掛債権等)の問題点を克服した新たな金銭債権です。全国銀行協会が設立した「でんさいネット(全銀電子債権ネットワーク)」に債権・債務データを記録することで、でんさいの発生、譲渡、分割が行えます。

◎でんさいサービスをご利用いただく場合は、「かぎんFB-Webサービス」のご契約が必要となります。
◎取引種類(手形代替取引、融資取引)及び各種手数料など詳細については下記へお問い合わせください。

	支払企業(債務者)の皆さま	納入企業(債権者)の皆さま
でんさいの メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●手形用紙の作成や印章の押印等、事務負担が軽減されます。 ●手形の搬送コストが削減できます。 ●手形と異なり印紙税は課税されません。(印紙の貼付が不要) ●複数の支払手段(手形・振込等)の一本化で効率化が図れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ペーパーレス化により、手形の紛失・盗難対応等の管理コストが削減できます。 ●必要な分だけ分割して、譲渡や割引ができます。 ●面倒な取立手続きは不要で、支払期日当日に自動的に資金が入金されます。

【お問合せ先】
まずはお電話ください

かぎんFBセンター ☎ 0120-089-274 ガイダンス2

受付時間 平日9:00~17:00
※銀行休業日を除く

または 鹿児島銀行本支店

はじめよう、あたらしく。 KAGOSHIMA BANK 鹿児島銀行

潮流を読む

株式会社大和総研
金融調査部 主席研究員
内野 逸勢

「まるごと」と未来都市」構想による地方創生」

アフターコロナの地方創生の方向性を見通す上で、内閣府の「スーパーステイ」構想が注目される。2018年10月に「スーパーステイ」構想の実現に向けた有識者懇談会」が設立されて以来、同構想の実現が議論されてきた。20年6月3日には「事業計画の同時・一体・包括的実現」を指し、「スーパーステイ法」が公布され、公布日から3カ月以内に施行される予定であり、加えて予算措置もなされている。8月に公表された「スーパーステイ」構想についてでは、同構想は30年に政府が達成を目指す Society5.0の地方での「先行実現」と位置付けられている。スーパーステイとは、「さまざまなデータを分野横断的に収集・整理し提供する『データ連携基盤』を軸に、地域住民などにさまざまなサービスを提供し、住民福祉・利便向上を図る都市」としている。つまり、これまで行政・民間サービスの提供者がバラバラに収集していた地域の住民・顧客データを、お互いに活用できる共通のデータ・ネットワークを構築することによって、地域の住民・顧客に質の高いサービスを提供する構想といえよう。

この構想の実現に向けて政府は、供給者側の最先端技術の一部のサービス分野への実証実験ではなく、「生

活全般にわたり」「暮らしに実装し」「住民目線で未来社会の前倒し」をすゝるとしていることから、「まるごと未来都市」構想とも呼ばれている。「AIやビッグデータを活用し、社会の在り方を根本から変えるような都市設計の動きが、国際的には急速に進展しているが、ここまで徹底した構想を目指す動きはないとしている。

「まるごと未来都市」構想の中身を具体的にみていくと、「生活全般にわたる」とは、「(1)移動、(2)物流、(3)支払い、(4)行政、(5)医療・介護、(6)教育、(7)エネルギー・水、(8)環境・ごみ、(9)防犯、(10)防災・安全」の分野の少なくとも五つをカバーすることと定義されている。その目的は、これら分野の横断的なデータを「必要なときに必要なデータを迅速に連携・共有」し、「ビッグデータの解析、AIの活用」を行い、地域が抱える社会的課題を解決することである。すでに複数の自治体に取り組んでいる。

さらに同構想を推進するための仕組みには工夫が施されている。前述したように、データの収集・整理とデータベータ化するシステムが異なる事業者が、お互いのシステムをつなぎ、外部のデータを活用できるようにするものだ。この工夫の中核をなすのが、データの提供者・地域住

民からのさまざまなデータを安心・安全かつ中立的に仲介する「データ連携基盤」である。この基盤を整備する事業者（IIデータ連携基盤整備事業者）は、基盤につなぐための「窓口と設計図」を外部の事業者公開する。これが「アプリケーション・プログラムミング・インターフェース（API）」と呼ばれるものである。簡単に説明すると、まず「アプリケーション」とはスマートフォン上で見られる「アプリ」と呼ばれるもので、音楽アプリ、計算アプリなど「特定の目的を実現するために使うソフトウェア」である。「プログラムミング」は「アプリをつくる仕様」であり、「設計図」「インターフェース」は「つなぎ合わせる窓口」と定義され、両者を組み合わせると先述の「窓口と設計図」となる。このAPIを開放する（IIオープンにする）ため「オープンAPI」と呼ばれる。

このオープンAPIによって異なる事業者間でのデータのやり取りを、これまで以上に可能とし、情報や機能を連携させることができる。一方、データの提供者は、同じようにオープンAPIを使って基盤にシステム的につなげることができ、必要ときに必要な自身のデータとサービスを受け取ることが可能だ。データを内閣府の整備するカタログ上で公開することが義務化されている。

スーパーステイ構想のオープンラボ（企業や各種団体が有する知見や先端技術を生かした取り組みを幅広く発信する場）への登録団体は155社（8月1日時点）に達している。この構想は、これらの事業者同士が

社内外のデータを連携し、知見やアイデアを共有して地域の社会課題を解決する新たなビジネスモデルを生み出す仕組みともいえよう。ただし、データの提供者である地域住民がデータを管理する基盤を信頼できるか、事業者と自治体をいかにマッチングするかなど、依然課題は残っている。その一方、アフターコロナでテックノロジーを活用して地域の社会問題を解決する流れが加速すると見込まれ、スーパーステイ構想によって地方創生は新たなステージに入るとも期待されよう。（8月19日執筆）



内野 逸勢
(うちの・はやなり)

PROFILE

1990年慶応義塾大学法学部卒業。大和総研入社。企業調査部（金融サービス担当）、経営コンサルティング部（金融機関担当）大蔵省財政金融研究所（1998～2000年）出向などを経て現職。専門は金融・資本市場、金融機関経営、地域経済、グローバルガバナンスなど。主な著書・論文に「FinTechと金融の未来～10年後に価値のある金融ビジネスとは何か？～」2018年4月、共著（主著）、「JAL再生 高収益企業への転換」日本経済新聞出版、2013年1月、共著。IAASB CAG（国際監査・保証基準審議会 諮問・助言グループ）委員（2005～2014年）。日本証券経済研究所「証券業界とフィンテックに関する研究会」（2017年）